E771Z849H71

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

○この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、据付工事前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
○お客さまご自身では据付けないでください（安全や機能の確保ができません）。
○この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱 LED 照明器具

LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズ 40形

[段調光形（100%,70%)]

取扱説明書・据付工事説明書

■販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。
■お客さまへ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

ライトユニットタイプ		ライトユニット形名	質量
10000lm 一般タイプ		EL-LU41063（N,W）AHTN	約0.9kg
集光タイプ	10000lm 一般タイプ	EL-LU41064（N,W）AHTN	約0.9kg

・ライトユニット形名の（ ）内は光色を示します。
N：昼白色（5000K）
W：白　色（4000K）

	適合本体	器具本体形名	質量
直付形	逆富士タイプ 150幅	EL-LHV41500	約1.0kg
	逆富士タイプ 150幅 全長1250	EL-LHV41501	約1.1kg
	逆富士タイプ 230幅	EL-LHV42300	約1.3kg
	笠付タイプ	EL-LHH41500	約1.0kg
	トラフタイプ	EL-LHL40700	約0.6kg

・表の器具本体と組合せてご使用の場合は、本説明書の取付方法を参照ください。
・上表以外の器具本体の取付方法は、本体に同梱の説明書を参照ください。

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

禁止

指示を守る

⚠警告

- **配線工事、器具取付の際は必ず電源を切る**（火災・感電の原因）
- **補強のない天井には取付けない**（火災・落下の原因）
- **器具を密集して取付けない〔200mm以上離す〕**（器具の温度が高くなり火災の原因）

- **器具取付けの際は電線を挟まない**（絶縁不良により、火災・感電の原因）
- **配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない**（絶縁破壊により、火災・感電の原因）
- **電源線・アース線は確実に接続し、端子台の最大送り容量を超えない**（火災・感電の原因）
- **引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕で使用しない**（火災の原因）
- **高温〔35℃を超える〕、高湿〔85%RHを超える〕、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない**（火災・感電・落下の原因）
- **狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない**（器具が過熱して火災の原因）
- **器具を布や紙などで覆わない**（可燃物を被せて使用すると火災の原因）
- **器具の改造や指定部品以外の交換はしない**（火災・感電・落下の原因）
- **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない**（火災・感電の原因）
- **ライトユニットは精密機器のため、取付け・取外しの際は器具本体の◇マーク付近を持ち、ひねらない**（感電・落下の原因）

- **施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従い行う**（施工不備により、火災・感電・落下の原因）
- **必ず当社の専用器具本体とライトユニットとの組合せで使用する**（火災・感電・落下の原因）
- **レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける**（落下の原因）

⚠注意

- **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない**（過熱して火災の原因）
- **光を直視しない**（長時間直視すると目を痛める原因）
- **納入仕様書の指定箇所・指定方向以外には取付けない**（火災・落下の原因）

- **器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない**（絶縁不良やさびにより、感電・落下の原因）
- **直射日光の当たる場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所で使用しない**（劣化による落下の原因）
- **屋外、水や湿気の多い場所、軒下・開放型駐車場・ピロティ等の雨線内で使用しない**（火災・感電の原因）
- **風が吹く場所で使用しない**（落下の原因）
- **表示された電源電圧以外では使用しない**（火災・感電の原因）
  定格電圧の90%以下での使用は、電源ユニットの耐用年限が短くなったり、故障の原因となります。

- **明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検、3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う**（点検不備により、火災・感電・落下の原因）
- 照明器具には耐用年限があります。設置して８～10 年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行していますので、点検・交換をおすすめします。LED 光源は光束維持時間に達しても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

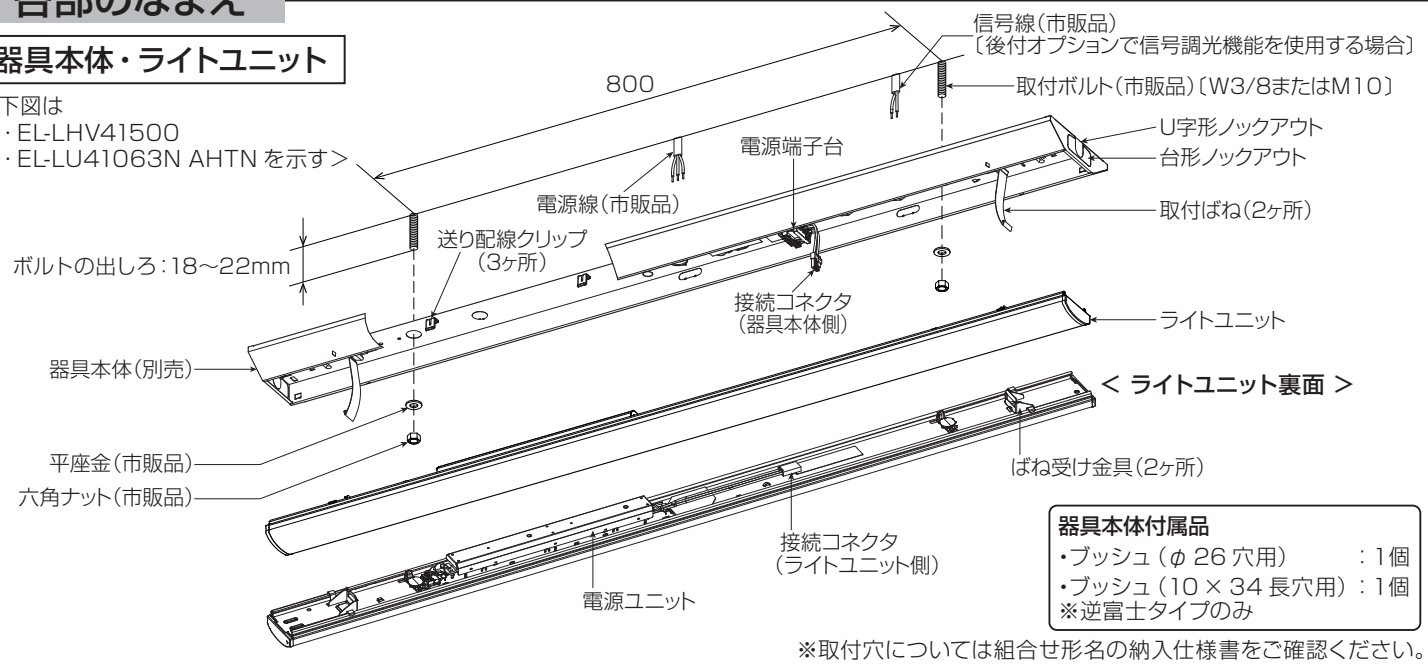
施工者様へ

以下の各部のなまえ･取付方法等をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

各部のなまえ

器具本体・ライトユニット

＜下図は
・EL-LHV41500
・EL-LU41063N AHTN を示す＞

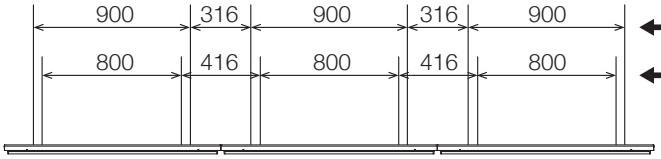


器具本体付属品
・ブッシュ（φ 26 穴用）　：1個
・ブッシュ（10 × 34 長穴用）：1個
※逆富士タイプのみ

※取付穴については組合せ形名の納入仕様書をご確認ください。

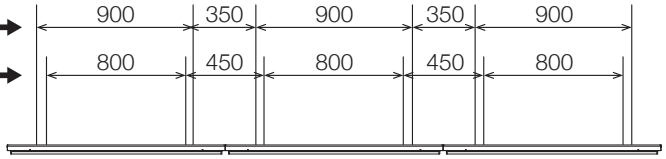
連続取付ピッチ

【EL-LHV41500・EL-LHH41500・EL-LHL40700 の場合】



← 木ねじ →
← 取付ボルト →

【EL-LHV41501・EL-LHV42300 の場合】



据付場所の選定

- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所
- 一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- その他納入仕様書に記載された事項が守られた場所

取付方法

⚠警告

施工は、据付工事説明書に従い確実に行い、ライトユニットの取付け・取外しの際は、必ず電源を切る（火災・感電・落下の原因）

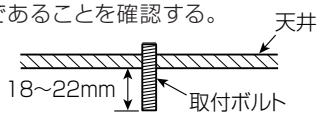
1 取付前の確認

⚠警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

(1) 器具本体質量、ライトユニット質量、オプション（ガード等）質量、及びライトユニットの引き下げ力（60N）の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
・オプションの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。
・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用し、板厚は 9mm 以上とする。
・取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。

(2) 取付ボルトの長さは、天井面より18～22mmにする。



2 器具本体を取付ける

(1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線･アース線を引き込む。ノックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず器具本体に付属のブッシュを取付ける。

(2) 別途手配の、平座金･六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは 1.0～1.2N･m。

お願い
締付トルク値を守ってください。（器具変形・天井面とのすき間の原因）

・ガードを使用する場合は、外径 25mm 以上の平座金を使用する。

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

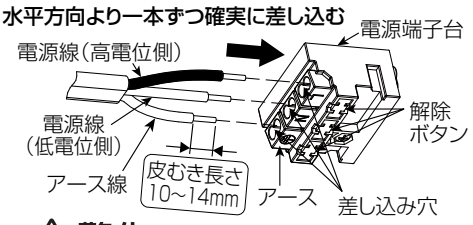
(1) 電源線･アース線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

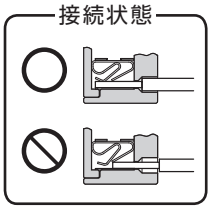
・適合引込み電源線
　φ1.6mm VVF 単線 または φ2.0mm VVF 単線
・電源線を電源端子台から取外すときは、幅6mmのマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。
・電源端子台の送り総容量はライトユニットの明るさタイプで異なります。(下表参照)

明るさタイプ	送り総容量
10000lmタイプ	8A

⚠警告

D種〔第3種〕接地工事は電気設備の技術基準に従って行い、漏電遮断器を確実に設置する(故障･漏電の時に、火災･感電の原因)

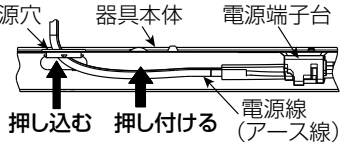




⚠警告

・**電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにむき､1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む**（差し込み不十分は接触不良により､火災･感電の原因）
・**送り配線は照明器具専用回路とし､電源端子台の送り総容量を確認して接続する**（容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因）

(2) 電源線･アース線の接続後、余分な電源線はライトユニットとの当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を器具本体に押し付ける。

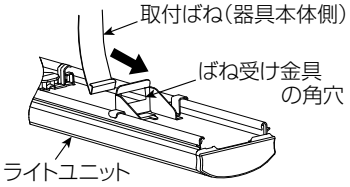


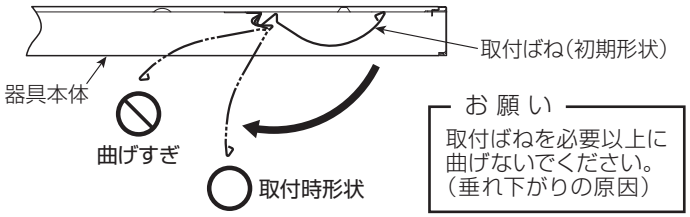
4 ライトユニットを器具本体に取付ける

(1) 器具本体側にライトユニットを仮取付けする。

・器具本体の取付ばねを下に曲げて、ライトユニット両側のばね受け金具の角穴に入れる。

⚠注意
取付ばねの片側のみ、ばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない（落下の原因）

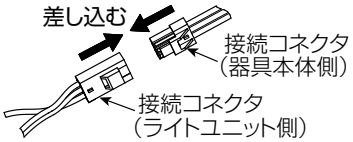




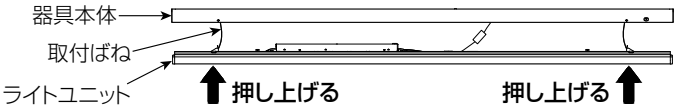
お願い
取付ばねを必要以上に曲げないでください。（垂れ下がりの原因）

(2) 器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。

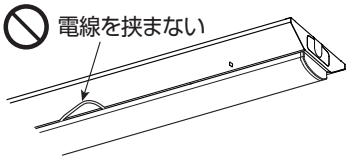
お願い
接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけないでください。（破損の原因）



(3) ライトユニットのばね受け金具近傍を持ち、電線を挟まないように器具本体側へ押し上げてライトユニットを取付ける。



⚠注意
押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない（けがの原因）

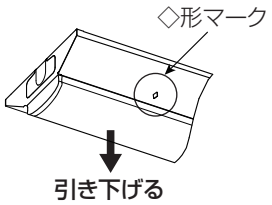


5 ライトユニットの取外しかた

(1) 器具本体の◇形マークを目印に、ライトユニット側面部を持ち、両手で水平に引き下げる。

(2) 取付けた時と逆の手順で取外す。

⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない（高温のためやけどの原因）



6 連続取付の場合

(1) 取付ピッチを確認する。（2ページを参照）

(2) 器具本体の端部をそろえて連結する（器具本体の中心を合わせる）。

(3) 連続取付の中央部から両端に向かってライトユニットを器具本体に取付ける。

※連結金具（REA48：別売）をご使用いただくと、器具本体の中心が合わせやすくなります。連結金具の取付けかたREA48の取扱説明書を参照してください。

7 器具間送り配線をする場合

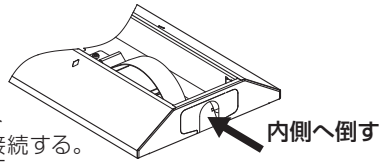
(1) 天井裏に、電源線・信号線を戻して配線する（推奨）。

⚠注意
ノックアウト部分〔電源用〕には、各配線のシース〔外被〕を残して施工する（火災・感電の原因）

〔器具内送り配線をする場合〕

(1) 器具本体のU字形ノックアウトを器具本体の内側に倒して取外す（逆富士タイプの器具は台形ノックアウトも取外す）。

(2) 電源線はエコケーブルソフトタイプを使用し、器具間を接続する。
・適合電源線：φ1.6EM-EEF



(3) 取付ばね・電源ユニットに触れないように配線し、送り配線クリップに挿入して固定する。

8 適合オプション・適合部品（別売）の取付け

・取付けは適合オプション・適合部品の取扱説明書に従い確実に行う。

⚠警告
適合オプション・適合部品の取付けは確実に行う（落下の原因）

据付工事後の確認

•据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください（機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません）。

チェック内容	チェック欄
電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込んでいますか。	
器具本体とライトユニットのコネクタを接続していますか。	
器具本体とライトユニットが確実に取付いていますか。	

試運転

•お客様立ち会いで試運転を行ってください。
スイッチ ON,OFF などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

お客様への説明

• 取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。

• 物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー・ゼネコン）や管理人などに説明してください。

お客様へ

以下の使用方法・お願い等をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

⚠警告
お客様自身で電気工事をしない（火災・感電の原因）
電気工事士の資格が必要です。

点灯モードの切替

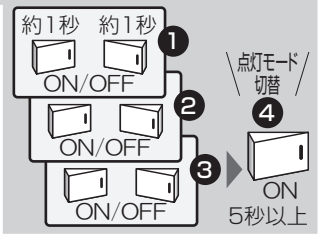
●点灯モード（定格・節電モード）の切替

・出荷時は定格モードに設定されています。
・消灯しても消灯前の点灯モードを記憶しています。

壁スイッチ操作　ON/OFF を繰り返し4回目のONで切り替わる

•定格モード切替
約5秒の間に明るさが1回明滅します。

•節電モード切替（明るさ 約70%）
約5秒の間に明るさが2回明滅します。



●点灯モードのリセット操作（定格モードにリセット）

・器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により点灯モードのリセットを実施してください。

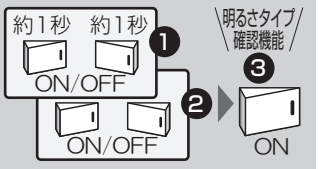
壁スイッチ操作
ON/OFF を繰り返し5回目のONで完了

•明るさが1回明滅すればリセット完了となり、定格モードになります。

※後付オプション取付時は点灯モードの切替はできません。

明るさタイプ・累積点灯時間の確認

① 壁スイッチ操作 ON/OFF を繰り返し3回目のONで②へ切り替わる



② 2秒間 明るさ100%

③ 明滅回数により明るさタイプをお知らせ

明滅回数	明るさタイプ
2回	6900lm
3回	5200lm
4回	4000lm
5回	3200lm
6回	2500lm
7回	2000lm
8回	10000lm

④ 2秒間 明るさ100%

⑤ 明るさが減光する時間により累積点灯時間をお知らせ

減光時間	累積点灯時間
4秒間	40000時間以上
2秒間	20000時間以上
1秒間	20000時間未満

※壁スイッチの代わりに、コントローラ等による〔点灯操作/消灯操作〕でも同様の確認が可能です(後付オプション取付時)。

お知らせ

- LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- 虫の飛来が多い場所で使用される場合、ライトユニット内に虫が侵入する恐れがあります。このような場合は、虫が入りにくい防雨・防湿形器具などをおすすめします。
- 商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 電源事情の悪い場所では、LED がちらつく場合があります。
- バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
  使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お願い

- 周囲温度は、5 ～ 35℃以内で使用してください。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せると、ちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
- 防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- 電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200 V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
- 無線調光ユニットを取付けて使用する場合、専用コントローラとの組合せで使用してください。専用コントローラが設置されていない、または、電源が OFF の場合には、照明器具の電源投入から点灯までの時間が遅くなります（約 5 秒程度）。コントローラの電源が ON になっていることを確認してください。
- LED光源の交換はできません。交換の際はライトユニットごと交換してください。

お手入れ

<器具> 器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバー> カバーはキズがつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

故障かな?と思ったら

Q ”ピシッピシッ”という音がする。
A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこすれる音です。

Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。
A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

- **無償修理**
  照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
- **無償提供**
  LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

■ 仕様 ■

	定格	定格電圧（V）	入力電流（A）			消費電力（W）			段調光（70%）消費電力（W）		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-LU41063（N,W）	AHTN	AC100 － 242	0.569	0.280	0.234	55.8	54.3	54.3	38.6	38.0	38.2
EL-LU41064（N,W）	AHTN	AC100 － 242	0.569	0.280	0.234	55.8	54.3	54.3	38.6	38.0	38.2

- 電源周波数50Hz/60Hz共用形です。
- 組合せの特性及び組合せ形名については、各組合せ形名納入仕様書及びカタログを参照ください。

異常時の処置

⚠警告 **煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る**（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先に相談してください。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル 0120-348-027（無料）
受付時間 9時～12時、13時～17時（土・日・祝日・当社休日を除く）
※音声ガイダンスに沿って番号を選択してください。

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕で使用しない**（火災の原因）	禁止	**器具取付けの際は電線を挟まない**（絶縁不良により、火災・感電の原因）
	高温〔35℃を超える〕、高湿〔85%RHを超える〕、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所、振動・衝撃のある場所、浴室やプール、常時風の当たる場所、風速60m/sを超える強風の吹くおそれのある場所で使用しない（火災・感電・落下の原因）		**配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない**（絶縁破壊により、火災・感電の原因）
	狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない（器具が過熱して火災の原因）	厳守	**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う**（施工不備により、火災・感電・落下の原因）
	傾斜天井や補強のない天井には取付けない（火災・落下の原因）		**必ず当社のMyシリーズ専用器具本体とライトユニットとの組み合わせで使用する**（火災・感電・落下の原因）
	ライトユニット単体で使用しない（火災・感電・落下の原因）		**レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける**（落下の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**天井直付、吊下げ兼用器具です**（指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因）	禁止	**表示された電源電圧以外では使用しない**（火災・感電の原因）定格電圧の90%以下での使用は、電源ユニットの耐用年限が短くなったり、故障の原因となります。
	ダクトへ取付けない（落下の原因）		**器具のノックアウトを外す場合は工具により電線を傷つけない**（絶縁不良により、火災・感電の原因）
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない（絶縁不良やさびにより、感電・落下の原因）		**屋外、水や湿気のある場所、軒下・開放型駐車場・ピロティ等の雨線内で使用しない**（火災・感電の原因）
	器具を密集して取付けない〔200mm 以上離す〕（器具の温度が高くなり火災の原因）		**直射日光の当たる場所で使用しない**（火災・変形・変色の原因）

お願い

- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しないでください。また、一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学特性に不具合が発生する原因となります。
- 人感センサ検知範囲と人との温度差が小さい場合（夏季等）は検知感度が鈍くなる場合があります。
- 突発性ノイズにより点灯することがありますが、故障ではありません。
- 取付高さが3m以上では、検知感度が鈍くなる場合があります。
- 油煙のある場所では使用しないでください。光学特性が低下する原因となります。
- 防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- 電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。隙間の原因となります。

お知らせ

- 商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- 電源事情の悪い場所では、LEDがちらつく場合があります。
- 器具内送り配線はできません。
- 調光器との併用はできません。
- 調光信号による送り機能はありません。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
  使用周波数が数百kHzの誘導無線（同時通訳システム）及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

保証とアフターサービス

保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。

・無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

・無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル **0120-348-027**（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

E770Z012G13　E770Z012H44

MITSUBISHI ELECTRIC

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

当社 My シリーズ専用器具本体とライトユニットの組み合わせで性能を満足します。

三菱LED照明器具

LEDライトユニット形ベースライト　Myシリーズ　40形　直付形　人感センサ付

形名 **EL-LH-VS41500**（150 幅）**EL-LH-VS42300**（230 幅）**EL-LH-VS41501**（150 幅）
（公共施設：LDS1-LSS9 用本体）（公共施設：LDS1-LSS10 用本体）
（公共施設：LDS2-LSS9 用本体）（公共施設：LDS2-LSS10 用本体）

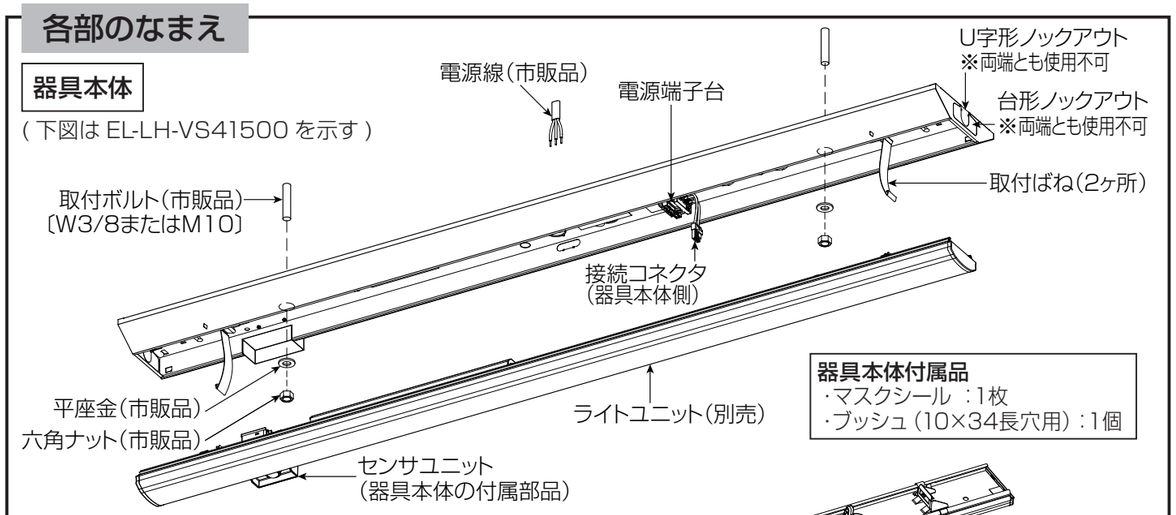
据付工事説明書
取扱説明書

○施工の前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。
○電源周波数 50Hz/60Hz 共用形です。日本全国どこでも使用できます。

各部のなまえ

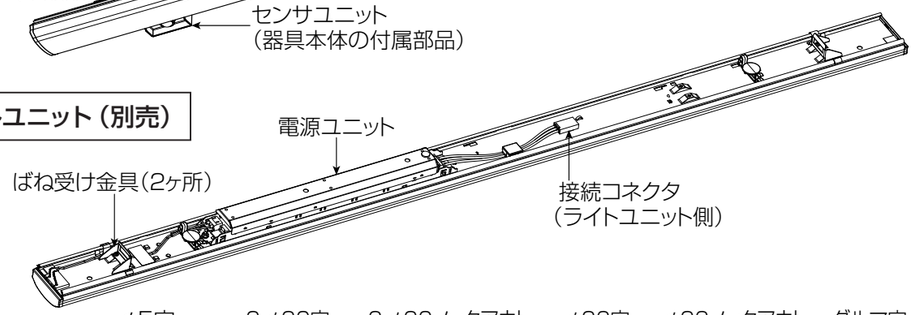
器具本体

（下図は EL-LH-VS41500 を示す）



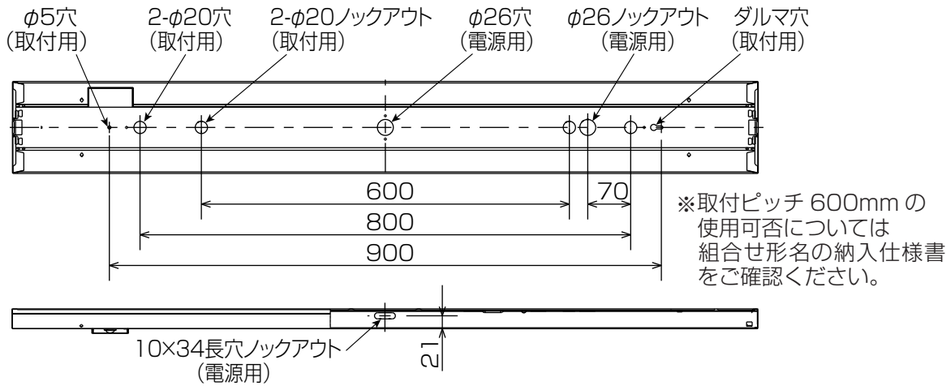
器具本体付属品
・マスクシール　：1枚
・ブッシュ（10×34長穴用）：1個

ライトユニット（別売）



取付穴

（単位 mm）



※取付ピッチ 600mm の使用可否については組合せ形名の納入仕様書をご確認ください。

各部のなまえと取付方法

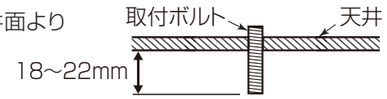
⚠警告 **器具の取付けは据付工事説明書に従い行う**
（不確実な取付けは、火災・感電・器具落下の原因）

1 取付前の確認

（1）器具本体質量（右表）、ライトユニット質量、オプション（ガード等）質量、及び
ライトユニットの引き下げ力（60N）の合計に十分耐えるよう、
取付部の強度を確保する。

・ライトユニット及びオプションの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。
・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用し、板厚は 9 ㎜以上とする。

（2）取付ボルトの長さは、天井面より
18 ～ 22 ㎜にする。



⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

形名	器具本体質量
EL-LH-VS41500	約 1.0kg
EL-LH-VS41501	約 1.1kg
EL-LH-VS42300	約 1.3kg

2 器具本体を取付ける

（1）器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。
ノックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず付属のブッシュを取付ける。

（2）別途手配の、平座金･六角ナットを
用いて、本体を確実に固定する。
六角ナットの締付トルクは
1.0 ～ 1.2N･m。

・ガードを使用する場合は、
外径 25mm 以上の平座金を使用する。

お願い
締付トルクが過ぎると、器具変形、天井面とのすき間の原因となります。

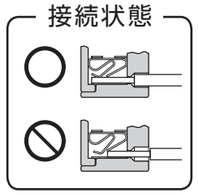
⚠警告
器具を確実に取付ける
（取付けが不完全な場合落下の原因）

⚠注意
器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する
（けがの原因）

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

（1）電源線には、ライトユニット同梱の耐熱チューブを取付けてください。
（耐熱チューブ同梱のライトユニットのみ）

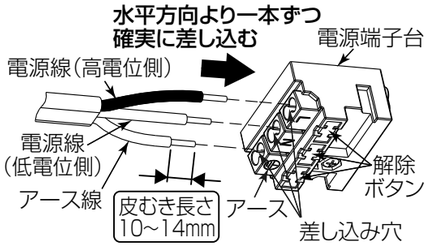
（2）アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。



⚠警告
D種〔第3種〕接地工事は電気設備の技術基準に従って行い、漏電遮断器を確実に設置する
（故障･漏電の時に、火災･感電の原因）

（3）電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より
一本ずつ確実に差し込む。

・適合引込み電源線
φ 1.6mm VVF 単線 または φ 2.0mm VVF 単線



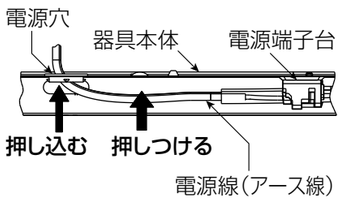
⚠警告
・**電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む**（差し込み不十分は接触不良により、火災・感電の原因）
・**送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台の送り総容量を確認して接続する**
（容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因）

・電源線を電源端子台から取外すときは、
幅6mm のマイナスドライバーで、解除ボタン
をまっすぐに押す。

・電源端子台の送り総容量はライトユニットの
明るさタイプで異なります。（下表参照）

明るさタイプ	送り総容量
10000lmタイプ	8A
6900lmタイプ	12A
5200lmタイプ	14A
4000lmタイプ	16A
3200lmタイプ以下	20A

（4）電源線・アース線の接続後、
余分な電源線はライトユニット
との当たりを防ぐため、
電源穴に押し込むか電源線を
器具本体に押し付ける。



7 施工後の動作確認

（1）検知範囲は右図の範囲です。

（2）検知時は 100% で点灯し、人がいなくなると
消灯または 5% の明るさで調光点灯します。

（3）電源を入れて検知範囲の外でお待ちください。
約40秒間の100%点灯の後､待機状態の消灯
または5%点灯に切替ります。

（4）検知範囲に入ってください。
器具が 100% 点灯します。

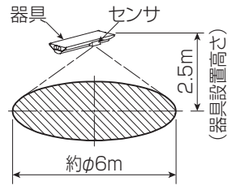
（5）再度検知範囲の外に出てください。
設定された点灯時間（多少ばらつきがあります）後、待機状態の消灯または5%点灯
に切替ります。

（6）センサレンズにマスクシールを
貼ることで検知範囲を制限する
ことができます。

※この器具は誤動作防止のため、
待機状態に切替り直後数秒間は
センサ検知動作しません。

マスクシール
（付属品）

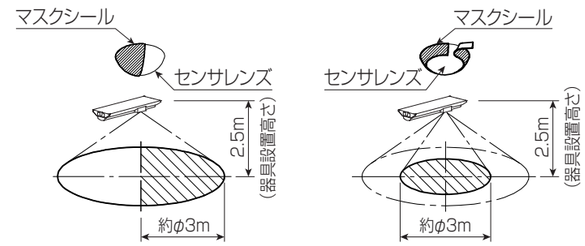
〔検知範囲〕



検知範囲の中心は
センサの位置です。
（器具の中心ではない）

〔検知範囲の制御方法〕（必要な場合のみ）

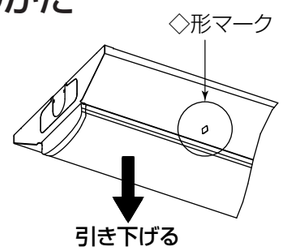
・検知範囲を半分にしたい場合　・検知範囲を狭くしたい場合



8 ライトユニットの取外しかた

（1）器具本体の◇形マークを目印に、
ライトユニット 側面部を持ち、
両手で水平に引き下げる。

（2）取付けた時と逆の手順で取外す。

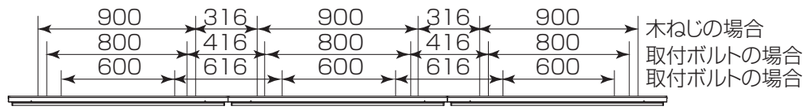


⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない
（高温のためやけどの原因）

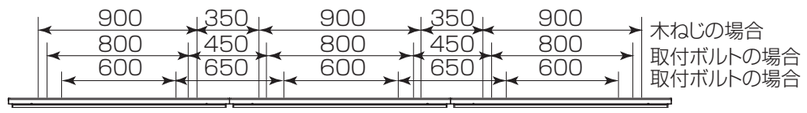
9 連続取付の場合

（1）取付ピッチを確認する。（単位 mm）

[EL-LH-VS41500 の場合]



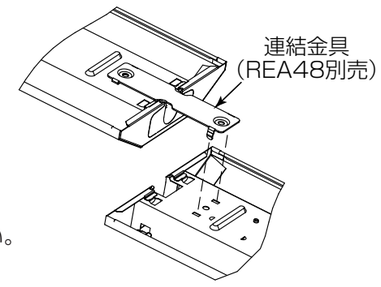
[EL-LH-VS42300
・EL-LH-VS41501 の場合]



（2）器具本体の端部をそろえて連結する。
（器具本体の中心をあわせる）

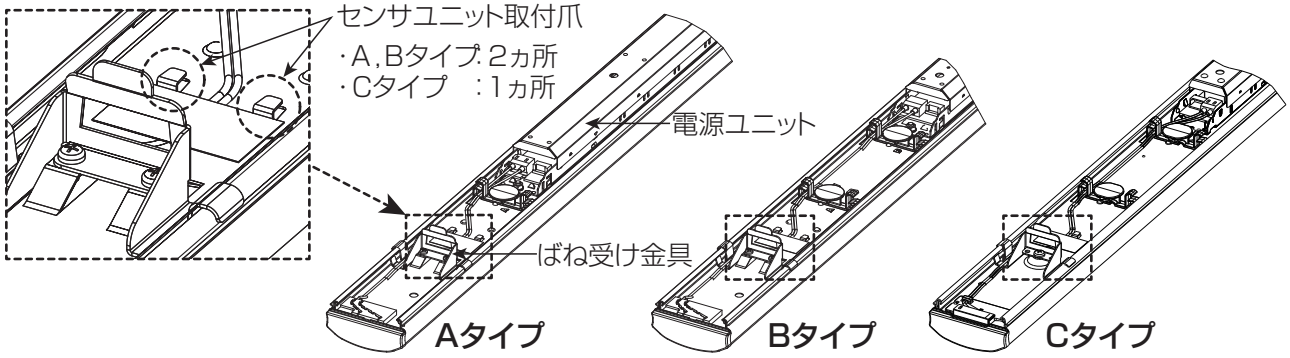
（3）連続取付の中央部から両端に向かってライトユニットを
器具本体に取付ける。

※連結金具（REA48：別売）をご使用いただくと、器具本体の中心が
合わせやすくなります。
連結金具の取付けかたは REA48 の取扱説明書を参照してください。

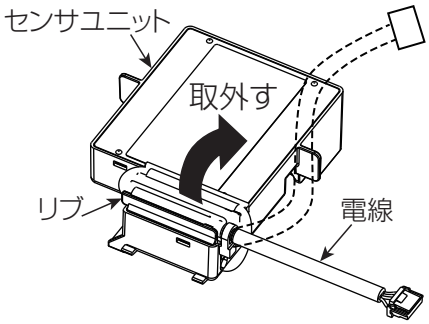


4 センサユニットをライトユニットに取付ける

（1）ライトユニットの種類およびセンサユニット取付爪の位置を確認する。

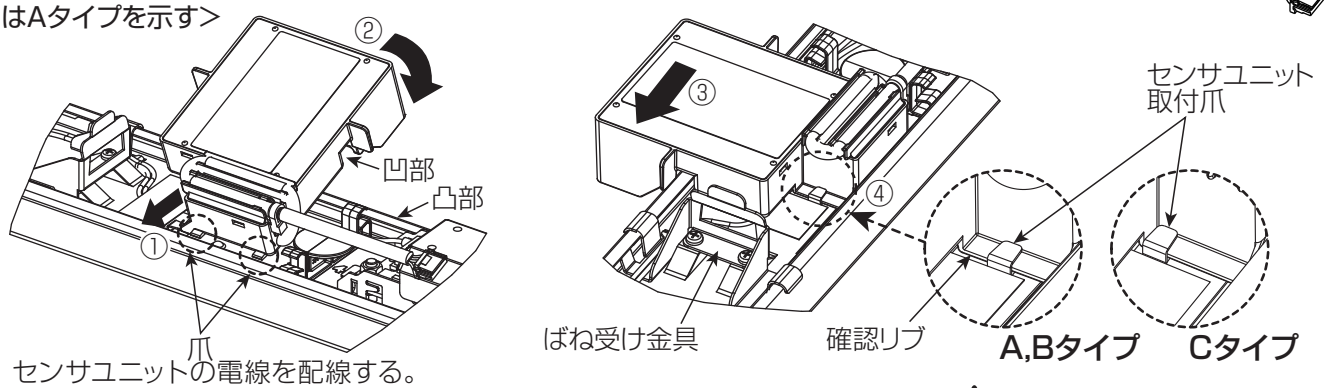


（2）B,C タイプをご使用の場合はセンサユニットの電線をリブから取外す。
※ A タイプをご使用の場合は電線をリブに巻き付けたまま使用する。



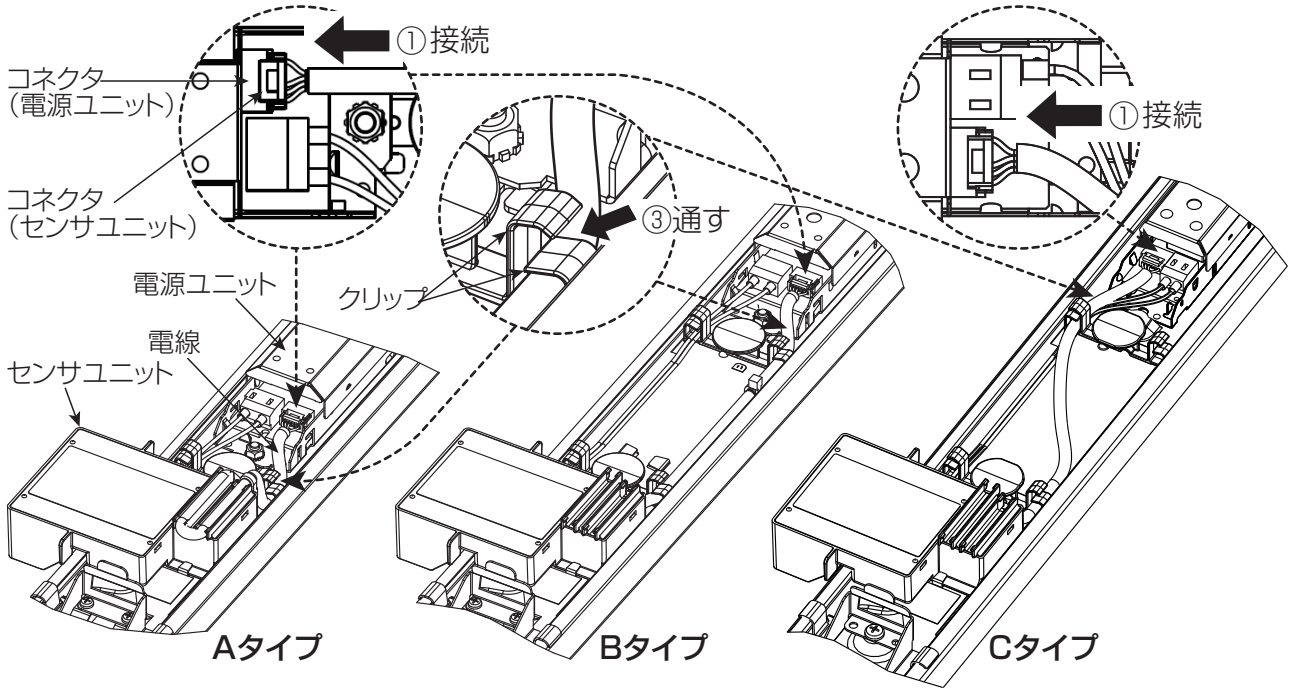
（3）センサユニットを取付ける。
①センサユニットの爪をライトユニットの内側に差し込む。
②センサユニットの凹部をライトユニットの凸部にはめ込む。
③センサユニットをばね受け金具側にスライドさせる。
④センサユニットの確認リブがセンサユニット取付爪の奥まで挿入されていることを確認する。

<図はAタイプを示す>



（4）センサユニットの電線を配線する。
①センサユニットのコネクタと電源ユニットのコネクタを接続する。
②コネクタを接続した後にはコネクタの根元を持って電線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認する。
③電線をクリップの中に通す。(Aタイプは1ヵ所、B,Cタイプは2ヵ所)

⚠警告
センサユニットの電線を挟み込まない（火災・感電の原因）



5 待機動作と点灯時間の設定

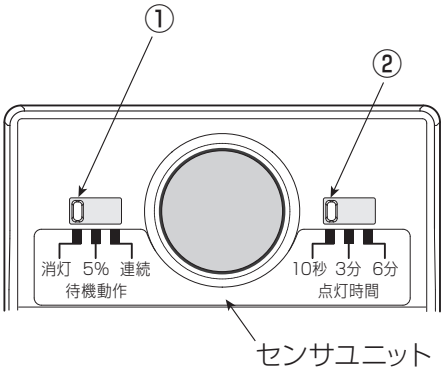
（1）センサユニットの切替スイッチにより設定する。

① **不在時（待機時）モード設定切替スイッチ**

■ 消灯　：不在時（待機時）に全消灯（出荷時設定）
■ ５％　：不在時（待機時）に5%の明るさで調光点灯
■ 連続　：センサは動作せず100%連続点灯
（壁スイッチでOFF）

② **時間切替スイッチ**

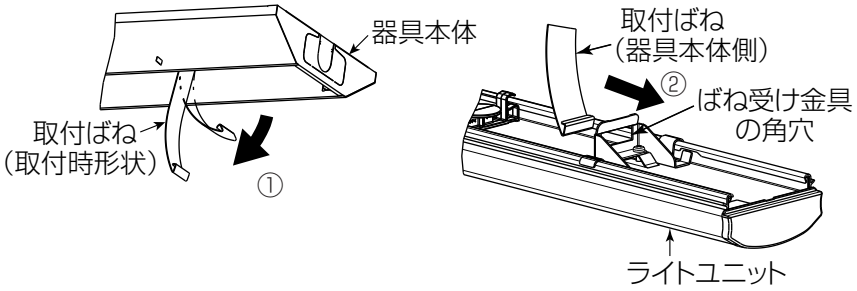
■ 10秒：点灯時間を10秒間に設定（出荷時設定）
■ ３分：点灯時間を3分間に設定
■ ６分：点灯時間を6分間に設定
（不在を検知してからの点灯時間）



6 ライトユニットを器具本体に取付ける

（1）器具本体にライトユニットを仮取付けする。

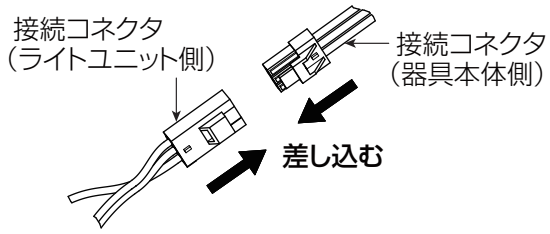
① 器具本体の取付ばねを下げる。
② 取付ばねをライトユニット両側のばね受け金具の角穴に入れる。



お願い
取付ばねを必要以上に曲げないでください。
（取付ばね変形の原因）

⚠注意
片側のみ取付ばねを、ばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない（落下の原因）

（2）器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。

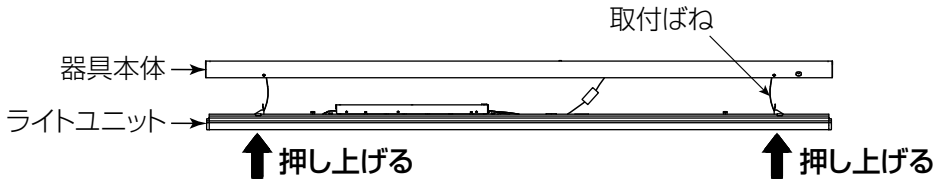


⚠警告
通電した状態でコネクタの接続をしない（感電の原因）

お願い
接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけないでください。
（破損の原因）

（3）ライトユニットを取付ける。

・ライトユニットの取付ばね近傍を持ちセンサユニットが器具本体に接触しない様ゆっくり器具本体に押し上げる。



⚠警告
接続コネクタ・電源線・送り配線を挟み込まない
（火災・感電の原因）

⚠注意
・**押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない**
（けがの原因）
・**ライトユニット取付後、電線の挟み込みがないことを確認する**
（感電の原因）